

20世紀フランス文学の検証

ミレイユ・カル＝グリユベールの文学批評を中心にヌーヴォー・ロマンとその後の系譜を追う



写真：Jérôme Panconi

11月10日(日) 10:30～17:00

立教大学池袋キャンパス D201 教室

本学教職員・学生・一般対象

午前の部：10時30分～12時00分

①ヌーヴォー・ロマンの作家たち(マルグリット・デュラス/ミシェル・ビュトール/クロード・シモン)：

河野美奈子 (立教大学)

オリビエ・アムール＝マヤール (国際基督教大学—フランス語発表・日本語翻訳アリ)

上田章子 (四天王寺大学)

エブラール・グリユベール (パリ第3ヌーヴェル・ソルボンヌ大学—フランス語発表・日本語翻訳アリ)

午後の部：13時30分～17時00分

①13時30分～14時20分：ミレイユ・カル＝グリユベール (2024年度立教大学招へい研究員、パリ第3ヌーヴェル・ソルボンヌ大学名誉教授) による基調講演 (フランス語発表・日本語翻訳アリ)

②14時30分～15時20分：ヌーヴォー・ロマン以降：

石川清子 (静岡文化芸術大学)

小川美登里 (筑波大学)

郷原佳以 (東京大学)

③15時30分～16時30分：ヌーヴォー・ロマンと日本における20世紀フランス文学の受容と翻訳

福嶋亮大 (立教大学)

石橋正孝 (立教大学)

澤田直 (立教大学)

④16時30分～17時00分：総括、閉会の辞

総合司会：関未玲 (立教大学)

主催：立教大学文学部文学科フランス文学専修／共催：立教大学外国語教育研究センター

入場無料/事前予約不要/問い合わせ先：関 未玲(sekimirei@rikkyo.ac.jp)